

# メバチ 大西洋

Bigeye Tuna, *Thunnus obesus*



## 管理・関係機関

大西洋まぐろ類保存国際委員会 (ICCAT)

## 最近一年間の動き

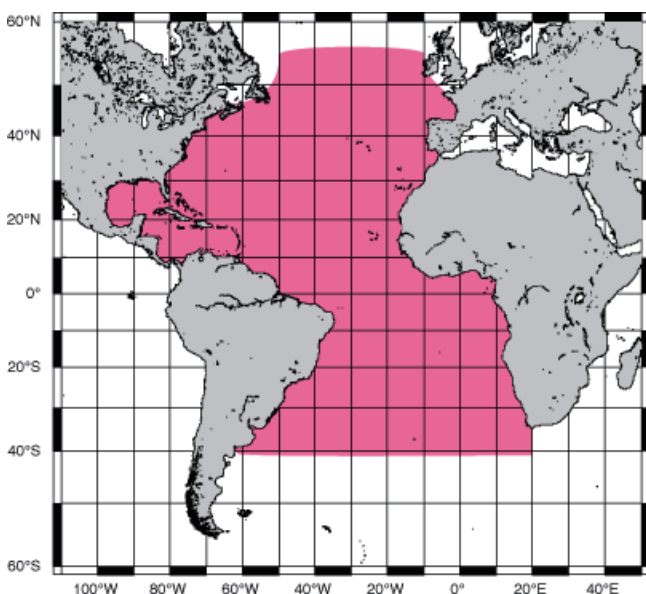
2007 年度に資源評価が実施され、前回 (2004 年) の資源評価結果と比べて、ほぼ同様もしくはやや悲観的であったが、最近年は資源の回復傾向が見られた。2006 年 (暫定値) の漁獲量は、はえ縄・まき網・竿釣りとも減少傾向を示し、総漁獲量も前年に引き続き減少した。

## 生物学的特性

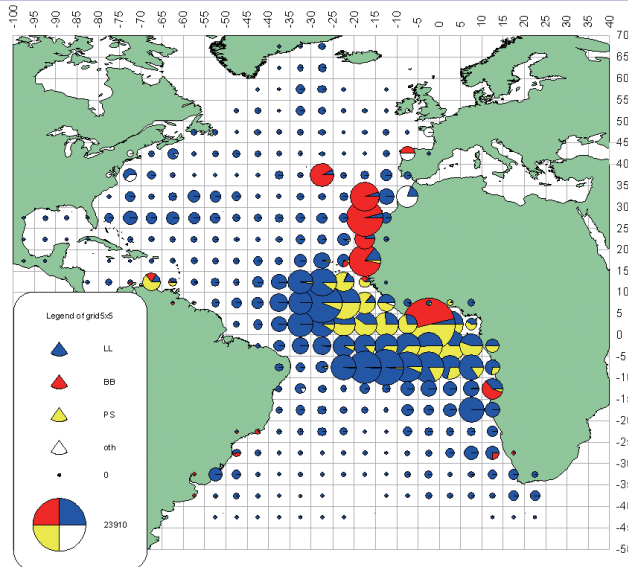
- 寿命：10～15 歳
- 成熟開始年齢：3 歳 (120 cm で大部分が成熟)
- 産卵期・産卵場：周年・表面水温 24℃以上の海域
- 索餌期・索餌場：特定の海域・時期の報告はない
- 食性：魚類・甲殻類・頭足類、他のまぐろ類よりハダカイワシ・ムネエソ等の中深層性魚類が多い
- 捕食者：大型のまぐろ・かじき類、さめ類、鯨類

## 利用・用途

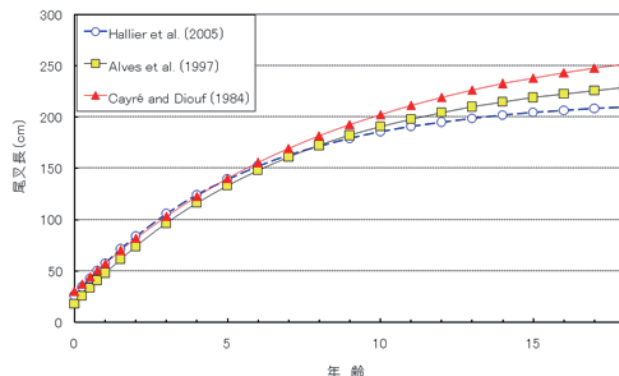
刺身、すし、缶詰、魚肉ソーセージの原料など



大西洋におけるメバチの分布



主要なまぐろ漁業による大西洋におけるメバチの漁獲分布 (2003~2005 年) (2007 年の ICCAT レポート改変)



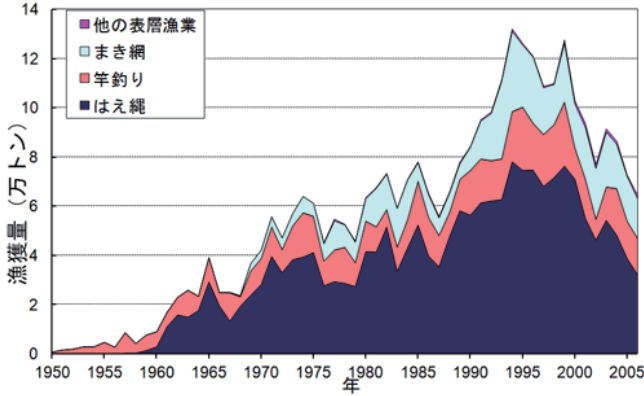
推定成長 (標識放流 Cayré and Diouf 1984、脊椎骨 Alves *et al.* 1998、耳石 Hallier *et al.* 2005)

## 漁業の特徴

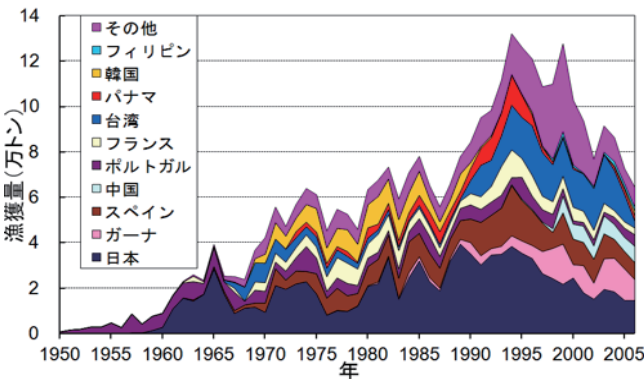
本資源ははえ縄 (日本・台湾・韓国等、2006 年は 3.2 万トン)、竿釣り (ポルトガル・スペイン・フランス・ガーナ等、1.5 万トン)、まき網 (スペイン・フランス・ガーナ等、1.6 万トン) で漁獲される。成魚が主対象のはえ縄による漁獲が大部分を占めるが、大西洋は他の大洋と異なり、まき網や竿釣りの漁獲も多い。

## 漁業資源の動向

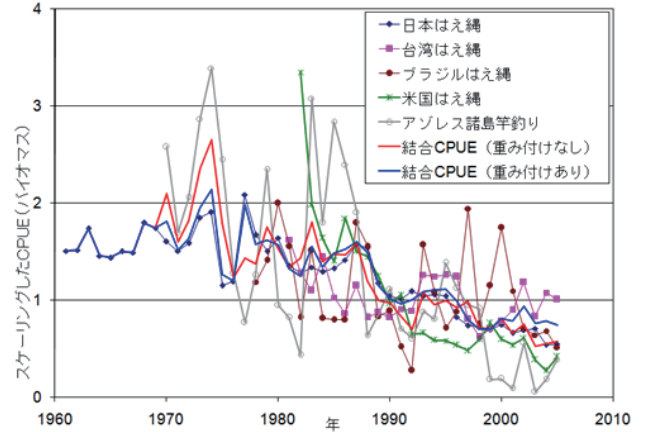
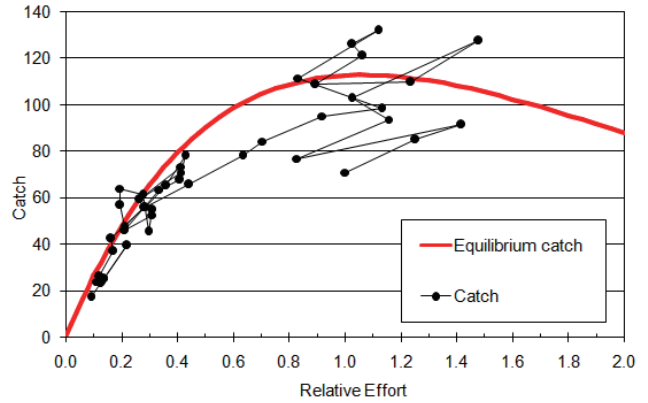
総漁獲量は 1994 年に過去最高の約 13 万トンから徐々に減少し、1998 年は約 9.5 万トン、2006 年は約 6.5 万トン (暫定値) である。1991 年からの漁獲増はまき網・はえ縄・竿釣りの漁獲増により、1995 年からの減少は主にまき網とはえ縄の漁獲減による。1991 年のまき網の FADs 操業 (人工浮魚礁) の開始以降、3~4kg の小型魚の漁獲が増加した。



本資源の漁法別漁獲量



本資源の国別漁獲量



1961~2005 年の Fox model( $m=1$ )、年齢階級を 5 で推定した際の PROFIT の当てはまり(上)日・台・米・ブラジルはえ縄とアゾレス諸島竿釣り、およびそれらを合わせた資源量指数(下)  
(2007 年の ICCAT レポート改変)

**資源状態**

本資源の総漁獲量は 1993~1999 年に MSY を上回ったため、資源量がかなり減少したと思われる。2007 年の解析結果によると、現在の資源量は MSY レベルをやや下回っており、現在の漁獲圧は MSY を達成する水準よりやや低いことが示唆された。

**資源評価まとめ**

- 資源量は MSY 水準付近
- 漁獲圧は MSY を達成する漁獲圧付近
- 過剰漁獲状態は脱したかに見えるが、主要漁業のはえ縄の CPUE は依然として減少が続き、注意深く資源量の変化を見守ることが必要

**管理方策**

1979 年の ICCAT の行政官会議で採択された 3.2 kg 未満の小型魚の漁獲規制はほとんど守られていなかった。ICCAT は 1999 年より、11~1 月のギニア湾での流れ物操業を全面禁止していたが、これに替わって、11 月のギニア湾(0~5°N、10~20°W)でのまき網と竿釣りの全面禁止が 2004 年の行政官会議で決定された。漁獲努力量の削減の為、1998 年に大型漁船の登録と同時操業隻数の凍結が決定された。漁獲量規制では、1999 年のメバチ漁獲量が 2,100 トンよりも多い主要漁業国の漁獲枠が 1991 年と 1992 年の漁獲量の平均値に設定された。また、2004 年の ICCAT 行政官会議では、2005~2008 年のメバチ保存管理措置(主要漁獲国の漁獲枠、漁獲能力制限)が合意された。統計証明制度は 2002 年 4 月から開始されている。

**資源管理方策まとめ**

- ギニア湾(0~5°N、10~20°W)11 月のまき網・竿釣りの全面禁漁
- 漁獲努力量の凍結および国別漁獲枠の設定
- 統計証明制度の導入
- オブザーバー調査実施

**メバチ(大西洋)の資源の現況(要約表)**

資源水準	低位
資源動向	横ばい
世界の漁獲量(最近 5 年間)	6.5~9.2 万トン 平均 7.8 万トン
我が国の漁獲量(最近 5 年間)	1.5~2.0 万トン 平均: 1.7 万トン